

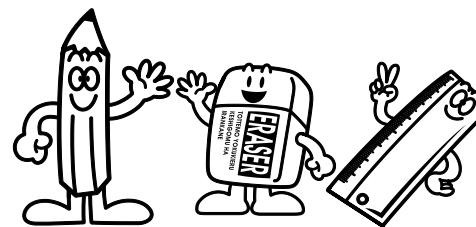


なかのだより

◆校訓◆ 正しく 明るく たくましく
大阪市立中野小学校 TEL 06-6352-3258

増刊
NO. 4

平成28年5月9日



☆ 家庭学習のすすめ ☆

本日より、家庭訪問が始まりました。そこで！今回の「なかのだより」では、「知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する」という中野小学校の教育目標の中でも、特に「知（学力の向上）」の部分に焦点を当てたいと思います。

中野小学校では、日々の学習を通して、「基礎基本の定着が図れるようにする」「学習したことを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む」「学習の仕方」を学び、学習に取り組む意欲を向上させる等のめあてが達成できるように「わかる・楽しい授業」の工夫を行っています。

「確かな学力」の育成には、学校での学習の充実とともに、「家庭での子どもの生活習慣や学習習慣」なども大切になってきます。自主的に学習に取り組む姿勢が身に付くためには、子ども自身の努力も大切ですが、学校・家庭との連携・協力がひじょうに大切です。子どものよりよい成長のために、それぞれの役割を理解しながら子どもたちのために、私たち大人も努力せねばなりません。

そこで、今年度も中野小学校は、「家庭学習のすすめ」と「家庭学習チェックシート（なかのマスター）」を作成しました。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いします。チェックシートは、お子様と一緒に毎月記録し、学校に持たせてください。（「家庭学習チェックシート」は5月末に配布します。少し内容を変更しましたので、先行して学校ホームページにアップしておきます。ご覧ください。）

「家庭学習」をがんばると・・・



1. 習ったことをわすれません。

学校で学習したことを家庭で復習することで、習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算学習に効果絶大！

2. 学ぶ習慣が身に付きます。

毎日決めた時間に家庭学習することにより、「おもしろい！」と感じることができます。低学年のうちから続けることにより、基本的な生活習慣として身に付きます。

3. テレビ、ゲーム、携帯・スマートフォンと学習の切り替えができるようになります。

家庭学習の最大の強敵は、テレビ、ゲームなどです。これらを見たり、使ったりする時間と「学習意欲・学習態度」とは、密接に関連しています。テレビなどの誘惑に打ち勝ち、我慢強さ、根気、集中力を養うために家庭学習をがんばりましょう。親子で「読書」をする機会も持てるはずです。

4. 家族でのふれあいの時間が増える。

音読を聞いてあげたり、分からぬところを一緒に考えたり、調べたりすることにより、家族のふれあいができます。学校からの配布物にも目を通してあげてください。

家庭学習の時間の目安（宿題も含む）		宿題以外の家庭学習のヒント・・・
1年生 2年生	10～30分くらい	教科書の音読（※声に出すことが大切）・日記や作文・視写（国語の教科書等の文章をノートに写す。）・ひらがな、カタカナ、漢字練習・計算練習（※おやつを分けるなど日常生活でも楽しい算数、九九の表を部屋やトイレの壁に）・読書・かんさつノート（花の咲く様子など）（※学習前に身の回りの整理整頓を。落ち着いて机に向かう態度。）
3年生 4年生	30～50分くらい	教科書の音読（※よい姿勢、はっきりした声、場面の様子がわかるように等）・日記や作文（中心をおさえて）・視写・漢字、ローマ字練習・国語辞典を使う・計算練習（※九九が定着しているかチェック）・読書・かんさつ日記（植物や昆虫など）・自主学習（復習、興味があることの調べ学習等）（※地図を見て、テレビ等で話題が出たらその都度場所を探してみる。）
5年生 6年生	50～70分くらい	教科書の音読（※音読から朗読に。登場人物の心情、情景を考えて等）・日記や作文（自分の考えを明確にして）・漢字学習・国語辞典や漢字辞典を使う・計算練習（※間違った問題は必ずやり直すことが大切）・算数さがし（身の周りの比例、割合、立体等）・新聞やインターネットを活用した学習・ニュースについて話し合う・自主学習（予習、復習、社会科の調べ学習等）（※学習が終わってから、遊ぶ、ゲームをする等のルールを決め、徹底させる。）

全学年、一番大切なこと…まずは、宿題をていねいにする習慣をつけましょう！

GOOD MORNING!

1. 活力を生み出す

- 睡眠を十分とる
- 生活リズムを整える

学習習慣が身に付くには、「早寝・早起き」や「朝食をしっかりとる」といった基本的な生活習慣が大切です。

4つのポイント

2. ほめて・認めて・励ます

- 「よくできたね」
- 「このごろがんばってるね」

子どもは、「もっとよくなりたい」、「もっとできるようになりたい」という気持ちをもっています。少しでも「できた」ことを認めることで、子どもの学ぶ意欲や「自分もやれるんだ」という気持ちが伸ばせます。

3. 学習しやすい環境をつくる

- 学習する時間をつくる
- 学習する場所の環境をつくる

子どもが学習する場所のテレビなどを消して、学習に集中しやすい環境をつくりましょう。子どもと、テレビやゲームについての約束をつくり、守らせることが大切です。



4. 見守る、一緒に学習する

- 学校での様子に关心を持つ
- いっしょに読書する

お家の方の关心が自分に向いているかどうかは子どもにも伝わります。また、「自分が習った時とは違っているので・・・」「難しい・・・」という声もよく聞きます。「勉強を教える」ことよりも「勉強をしている姿を見守る」ことが大切です。がんばっている姿を認め、やさしく背中を押してあげることが大切です。

